

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 5 月 7 日

事業名称		修学旅行等事業費[宿泊施設使用料負担軽減事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	6	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育総務 課 学務 係					課長名	斎藤 謙二郎					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内在住でかつ公立の小中学校に在籍している児童・生徒のうち、宿泊を伴う移動教室・修学旅行に参加した者の保護者					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内在住でかつ公立の小中学校に在籍している児童・生徒のうち、宿泊を伴う移動教室・修学旅行への参加対象者数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 修学旅行等の宿泊費の補助(一部)が受けられる					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加者数						
	③ そのために何をしましたか。 保護者の負担を軽減するため、宿泊を伴う移動教室・修学旅行に参加した児童・生徒の保護者に対し、宿泊費の一部を補助する					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 児童・生徒一人当たりの補助額 ①小学5年生 2,200円 ②小学6年生 3,800円 ③中学1・2年生 4,200円 ④中学3年生 5,100円						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	3,558	3,596	3,598						
	成果指標	②の数値	人	2,395	2,446	2,602						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方 全ての児童・生徒が修学旅行とうに参加できることが本事業の目的である												
3 経費	活動指標	③の数値	人	①2,200,②3,800 ③4,200,④5,100	①2,200,②3,800 ③4,200,④5,100	①2,200,②3,800 ③4,200,④5,100						
	事業費(実績)		円	9,679,920	9,784,200	10,660,800	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	9,679,920	9,874,200	10,660,800						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.0						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.2						
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	0						
職員人件費(再任用)	円	0	0	783,400								
事業費+人件費		円	10,505,220	10,608,600	11,444,200							
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度									
	(2) 環境の変化		今年度第六小学校の5年生が移動教室を実施し、小学5年生移動教室実施校が5校となった									

事業名称	修学旅行等事業費[宿泊施設使用料負担軽減事業]				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
	特になし				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	小学5年生の移動教室においては、10校中4校のみの実施であり今後増える可能性もあるが、公平性の観点から検討する必要がある				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	特になし				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
	対象学年を広く浅くするか、集中させるかを検討する必要がある				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
	施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 限られた財源の中で、保護者負担軽減頭使する事業として、今後の現状を維持していきたい				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	特になし				